

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	港区
学 校 名	弁天小学校
学校長名	嶋田裕光

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 56 名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率については、国語科・算数科ともに大阪市平均を下回った。（国語：－4%、算数：－2%）平均無回答率については、国語科・算数化ともに大阪市平均より高い結果であった。（国語：＋2.5%、算数：＋3.3%）

質問紙調査では、「自分には、良いところがあると思う」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「国語の勉強が好き」「算数の勉強が好き」という質問において肯定的な回答の割合が大阪市平均、全国平均を上回った。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の内容別に見ると、「我が国の言語文化に関する事項」の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」について大阪市平均や全国平均と比べて特に下回り課題が残る。また、漢字の問題については、他の問題と比べて無回答率が高い。

〔算数〕

学習指導要領の領域別に見ると、「C変化と関係」では、大阪市、全国平均を上回るが「A数と計算」「B図形」「Dデータの活用」では、大阪市、全国平均を下回り課題が残る。特に「図形」では、三角形の底辺と高さの関係を説明する問題でつまずきが見られた。また、「データの活用」ではグラフや表から条件に合う数を読み取ることにつまずきが見られた。

質問紙調査より

児童質問紙の結果から、本校の児童は基本的な生活習慣や学習に向かう態度が身についていることがわかる。また、自己肯定感が高く、友だちや自分を大切にしようとする態度も身についている。学校生活の中で、様々なことに挑戦する場面や機会を増やし、児童が夢や目標に向かって自信をもって学習に取り組み自己実現できるよう子どもたち一人一人の状況に応じた支援を進めていく。

今後の取組(アクションプラン)

○基礎学力の向上

「学力向上支援チーム事業（重点支援）」を有効活用する。教育コーディネーターによる国語科・算数科の授業参観を計画的に実施することで授業改善を図り、児童が「わかった、できた」を実感できるようにする。また、学びコラボレーターや学びサポーターによる放課後学習支援（放チャレ）を実施し、児童の学力を支援することで児童の学力の底上げを図る。「大阪市の学力向上支援事業」を活用し、5・6年生全員が漢字検定を受検する。受験に向けて学習意欲を高めるよう取り組みを見直していく。

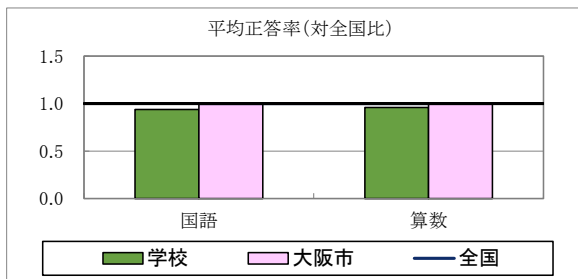
○個を尊重する教育

児童の自尊感情を高めるための取り組みとして、他者から称賛される機会を増やす。（タイピング大会等自分の得意なことを認めてもらえるような取り組みを企画・実践する。）

【 全体の概要 】

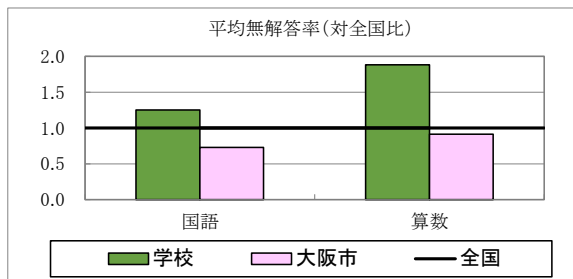
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	63	60
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5



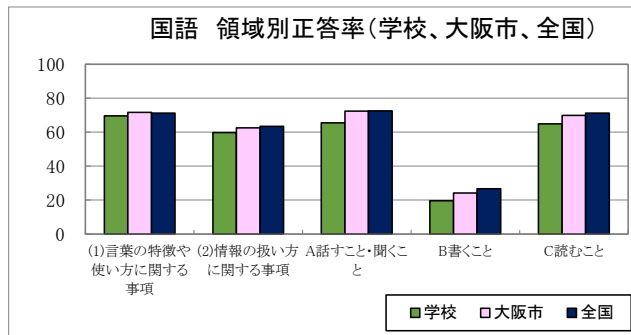
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	6.0	6.4
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

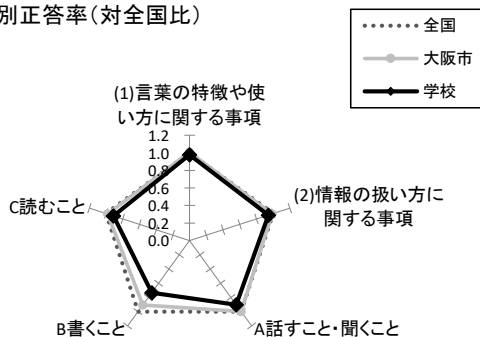


【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	69.6	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	59.8	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	65.5	72.4	72.6
B 書くこと	1	19.6	24.2	26.7
C 読むこと	3	64.9	69.9	71.2

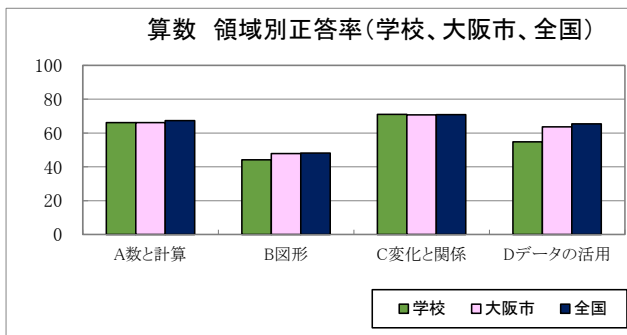


国語 領域別正答率(対全国比)

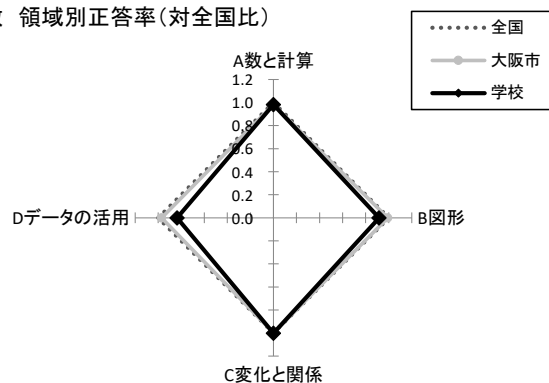


【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	66.1	66.1	67.3
B 図形	4	44.2	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	71.0	70.8	70.9
D データの活用	3	54.8	63.6	65.5



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

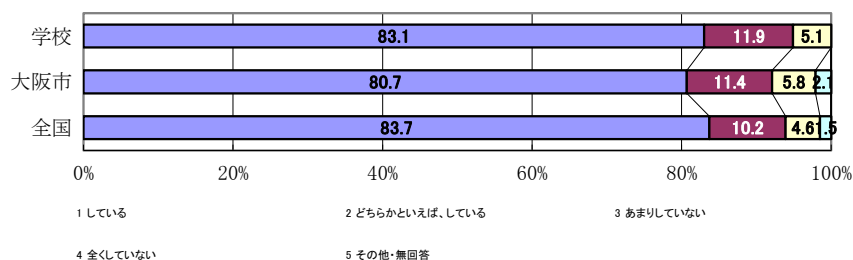
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

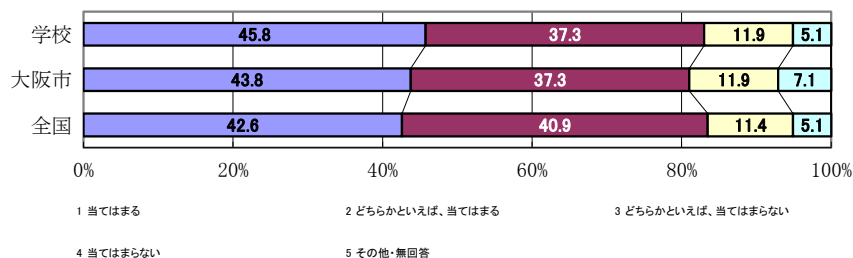
1

朝食を毎日食べている



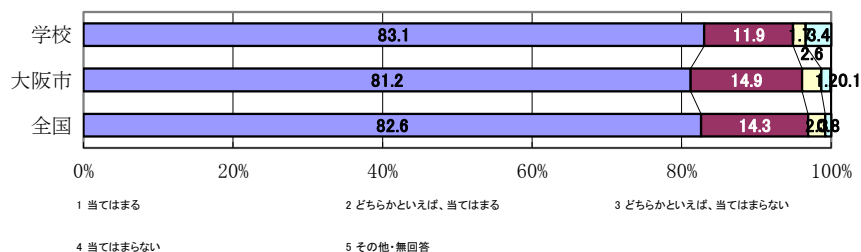
4

自分には、よいところがあると思う



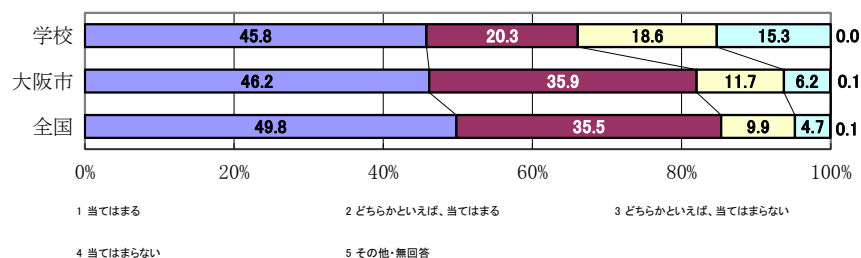
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



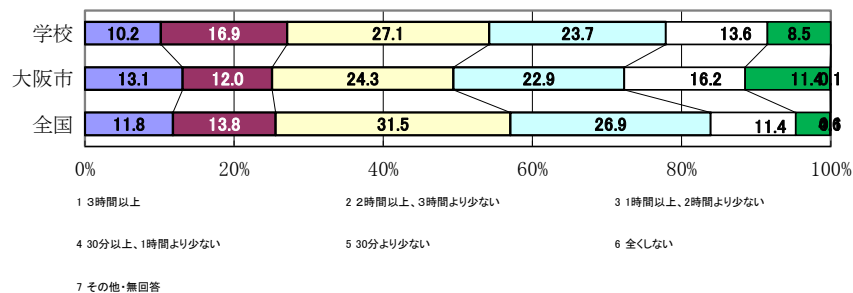
12

学校に行くのは楽しいと思う



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)

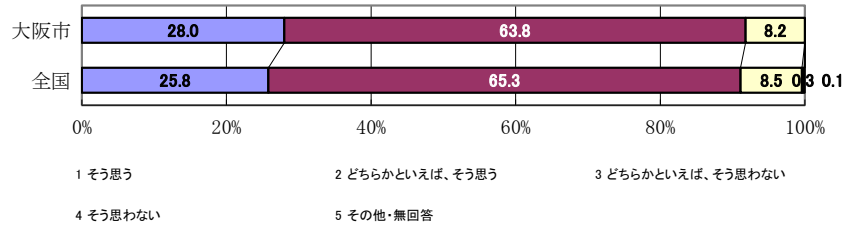


学校質問紙より



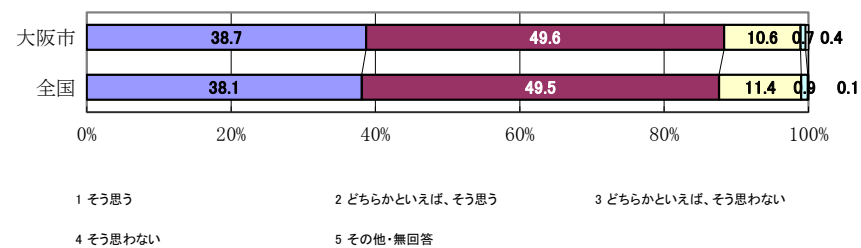
質問番号
質問事項
8
調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強している

学校「そう思う」を選択



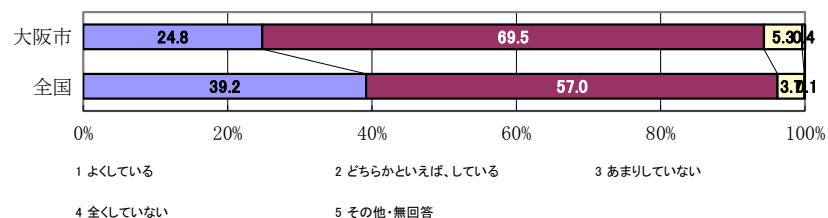
9
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

学校「そう思う」を選択



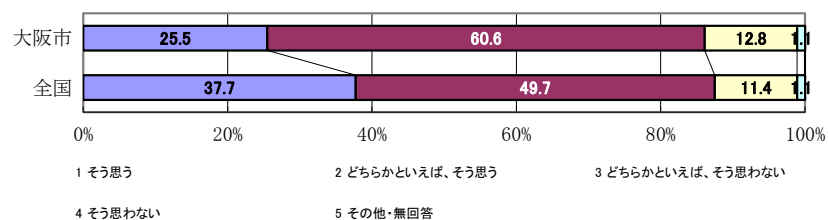
19
児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

学校「どちらかといえば、している」を選択



54
コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか

学校「そう思う」を選択



72
保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

学校「よく参加している」を選択

